

## 分館人権学習会が開催されました

9月～11月にかけて、町内の全分館において分館人権学習会が開催されました。延べ413名の皆さんにご参加いただき、「若者と子どもの人権」をテーマとした『君が、いるから』（東映）の人権啓発ビデオの視聴と意見交換がされました。

今回のテーマは、身近に感じる方も多く、学習会では多くの意見が出されました。意見には、「現在、報道などで話題になっている児童虐待等の内容だったので、関心の高い内容だった。」「自分にも娘がいて、登場人物と同じようなことをしてしまった経験がある」、「母親が子どもにきつく言うことはよくあること。それは子どもが心配でしっかりと育ててほしいからではないだろうか。」等の意見が出されました。一方、「子どもへの声掛けが大切なことは解るが、知らない子には声を掛けづらい」等の、昨今の地域での子ども達との接し方の難しさに関する意見も多く出され、ビデオで扱われた「189」という児童虐待通報ダイヤルがあるということも初めて知った方も多くおられました。（子どもの人権については、広報た

てしな6月号、8月号にも掲載しておりますのでご覧ください。）ビデオには、様々な意見や感想がありましたが、参加者の皆さんが、若者と子どもというテーマを通して、各々の立場で人権について考えるきっかけとしていただけたのではないかと考えます。

また、学習会を、地域の常会、役員会等に合わせで開催する分館も増え、中には学習会前にコンサートを開催する等の工夫をしていただいた分館もあり、多くの方が参加しやすい学習会としていただけたことに感謝申し上げます。

この学習会を「年に一度は人権のことを考える、いろいろなテーマがあり、再確認できて良い機会」と言う感想もありますので、まだ参加されたことのない方も、次回は参加してみたいかがでしょうか。（人権学習会のビデオは、分館等への貸出もしておりますので、ご希望される方はお問合せください。）

今後も、様々な人権問題に目を向け、分館人権学習会を継続して参りますので、引き続き、大勢の皆さんのご参加をお願い申し上げます。



【お問合せ】 教育委員会 社会教育人権政策係 電話88-8416

## 第9回立科すずらん学級「冬の映画鑑賞会」開催

教育委員会

第9回立科すずらん学級では、冬の映画鑑賞会を開催します。

今回は、松竹120周年記念映画の「母と暮らせば」を上映します。

山田洋次監督が作家・井上ひさしさんに捧げ、長崎を舞台に母親役を吉永小百合さん、息子役を二宮和也さんが演じるやさしく泣けるファンタジー作品です。

どなたでも鑑賞いただけます。ご近所お誘いのうえ、大勢の皆さんお出かけください。

- ◆開催日時 令和2年1月26日(日) 午後1時開場 午後1時30分上映開始
- ◆場 所 立科町中央公民館 大会議室
- ◆上映作品 「母と暮らせば」

